

心の輪12R



『**小さな一歩**』という資料を通して、
『**よりよい集団づくり**』について
考えを深めました！



美化委員長の理恵は、学校の美化活動を盛り上げるために様々な取組に力を入れる。しかし、周りの美化委員はそれぞれ不平や不満を口にする。勝手なことを言う委員たちに怒りを覚える理恵だったが、友達で栽培委員である麻衣との話をする中で、これまでの自分の持っていた怒りに恥ずかしさを感じる。そして、美化委員会をよりよくするためにはどうしたら良いかを理恵は考え、これまでとは違った考え方を持つようになる。『よりよい集団』をつくるために必要な『小さな一歩』とは一体何なのだろうか？

欠点を改めて理解して、無理のない程度で一人一人が声掛けや行動を起こすことで、周りの人もやる気が出て手伝い、『思いやり』と『助け合い』の精神をみんなが持つことが出来るようになると思う。

集団行動を大切にして、みんなで協力をする。暴力・暴言をなくすために注意をしたり、そのもとになるようなことをしたりしない。自分のことばかり考えずに、他人のことを考えて行動する。小さな一歩から大きな成長へ。

まず、人の意見や気持ちを考えて行動したり、決めたりしていく。小さな当たり前なことをしっかりする。自分のことだけを考えずに、他の人も考える。

私が出来ることは、色々な人の意見を取り入れること。周りの人が出来ないことは、やってあげれば良いと思う。

集団の中の自分に胸を張れ!!

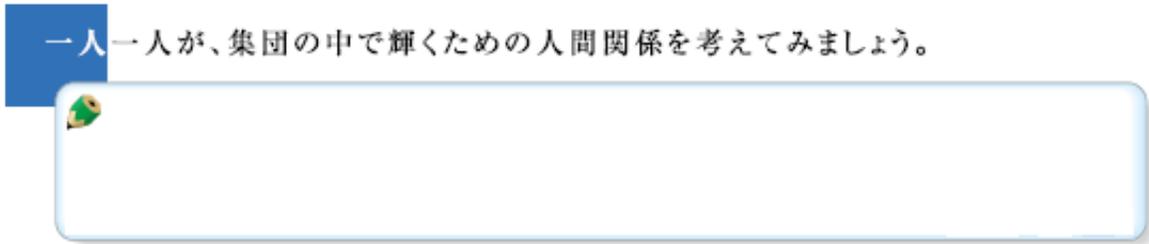
「かけがえのない存在」である一人一人が集まって、集団が構成される。
そんな集団の中で、あなたは……。

人間は社会で生きていくために、何らかの集団の一員になっている。自分の意志で所属することもあれば、学級のように、決められた集団に所属することもある。

どんな集団でも、目標を達成したり、そこでの生活を向上させたりしていくためには、構成する一人一人が協力し合い、役割と責任を果たすことが必要となる。

集団の中でも互いに尊重し合い、その目標を着実に実現し、他の集団からも尊敬される、そんな集団をつくっていくためには、どうしていけばよいのだろうか。

文部科学省資料
『私たちの道徳』P.166より引用



集団行動を大切にして、一人一人を尊重する。自分のことを尊重せず、他人から尊重していく。自分が出来る小さなことは、協力したりすることです。

よりよくするためには、自分の行動一つ一つに責任を持つことが大切だと思います。また、自分以外の人のことを考えることも大切だと思います。

周りに困っている人がいれば助けてあげる。自分のことだけでなく、周りのことも考えて行動し、協力することを忘れずにする。